

白鳥神社

大鳥居修繕工事

記録写真

工期

自 令和8年5月16日

至 令和8年9月6日

今回、大修繕に至るまでの経緯は概略下記のとおりです。

- 2,014年8月3日 木の表面がスポンジ状に劣化しているところは削り取る。
高所作業車にてクレゾールを塗布する。拝殿腰壁下も塗布。
- 2,017年11月26日 鳥居にキガタメールを注入、高所作業車使用。
- 2,018年9月4日 台風にて鳥居が傾く。
根元を掘り起こし、立て直し、大々的に補修する。
- 2,026年5月3日 大修繕を発議
- 5月16日 自治会役員、総代衆参加の元、工事安全祈願神事催行。
即日足場組開始。秋の祭礼までには完成を目論む。
鳥居の表面がスポンジ状のところが目立つ。
その個所は総て削り落とす事から始まった。
最上部に劣化している個所を発見し、はぎ取った。
何と中に、二か所も、鳥が巣をかけていた。
鳥さんには悪いが引っ越し願った。
劣化した部分を取り除くと、中は堅く、健在だった。
足場工事は太神楽の役者衆である鳶の蓑島さんに依頼
大工工事は棟梁に総代の川崎弘さんに依頼。
その補助を総代衆で出られる方々に依頼。
鳥居の笠木工事以外は総て神社関係者で施工にあたった。
- 9月6日 無事竣工の神事を終える事が出来た。

大鳥居修繕工事・・・令和8年5月～9月



着工前



西側柱

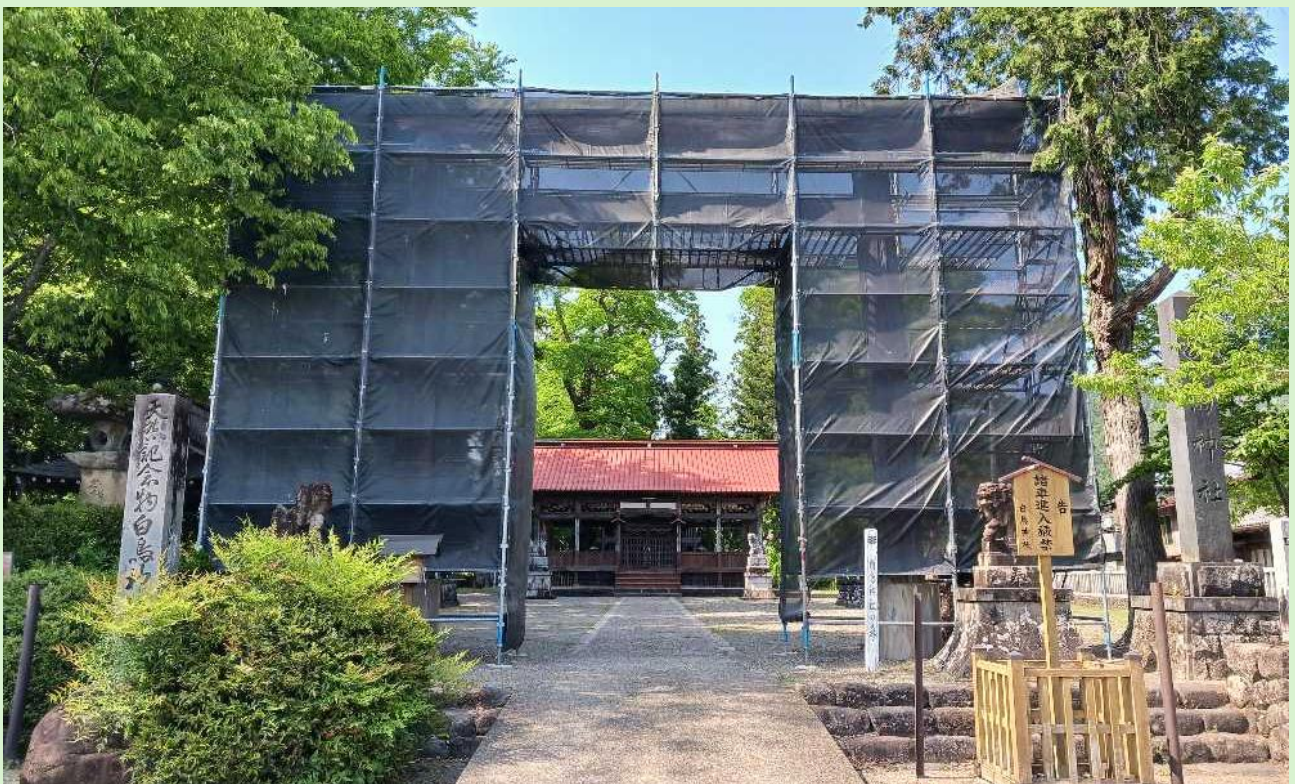


東側柱

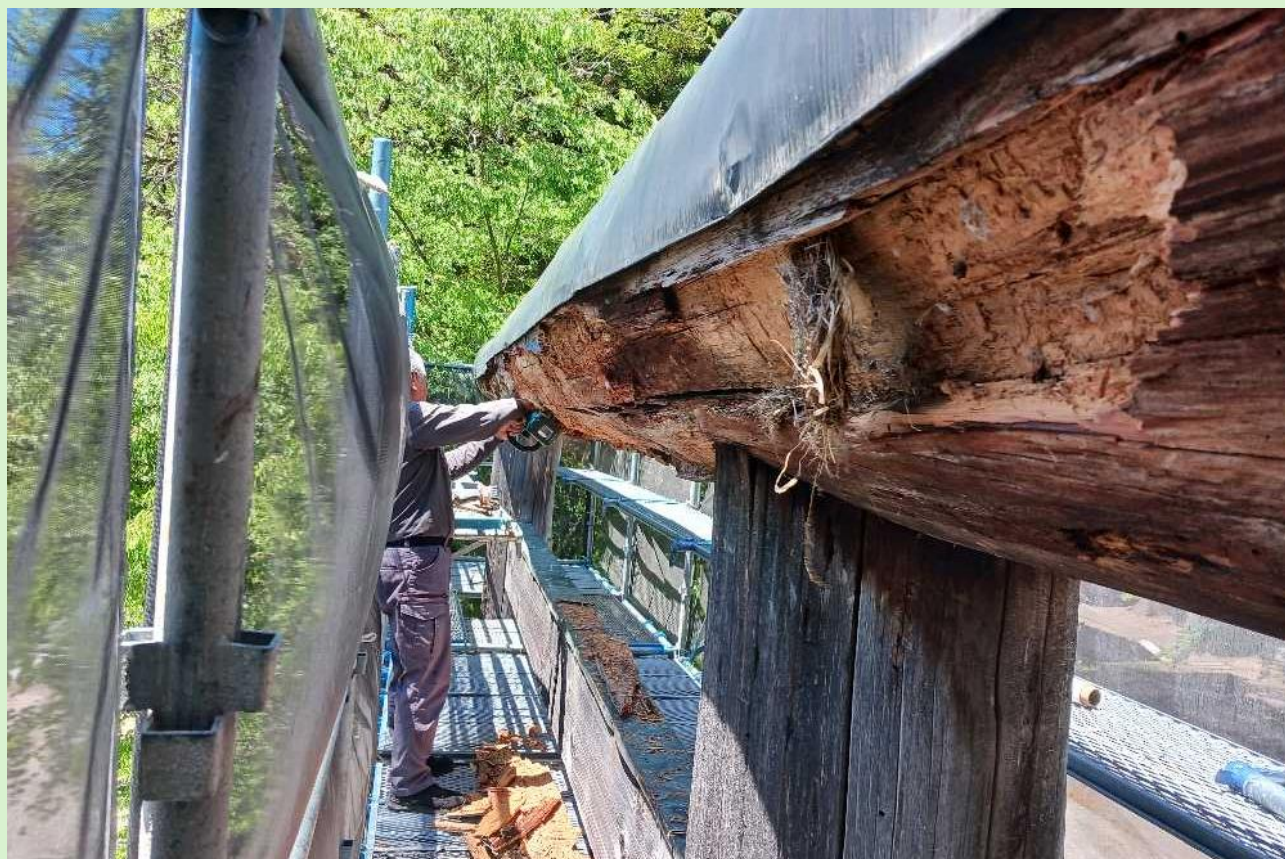
劣化状況



5 / 1 6 着工前 工事安全祈願神事



足場架設～鳶の蓑島



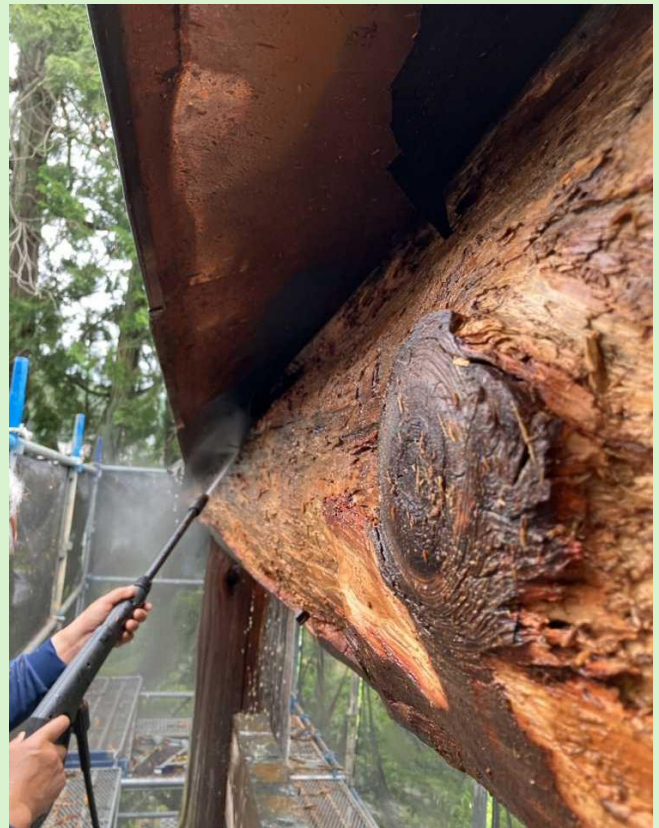
笠木 劣化状況 鳥に巣があった



笠木劣化箇所剥ぎ取り状況

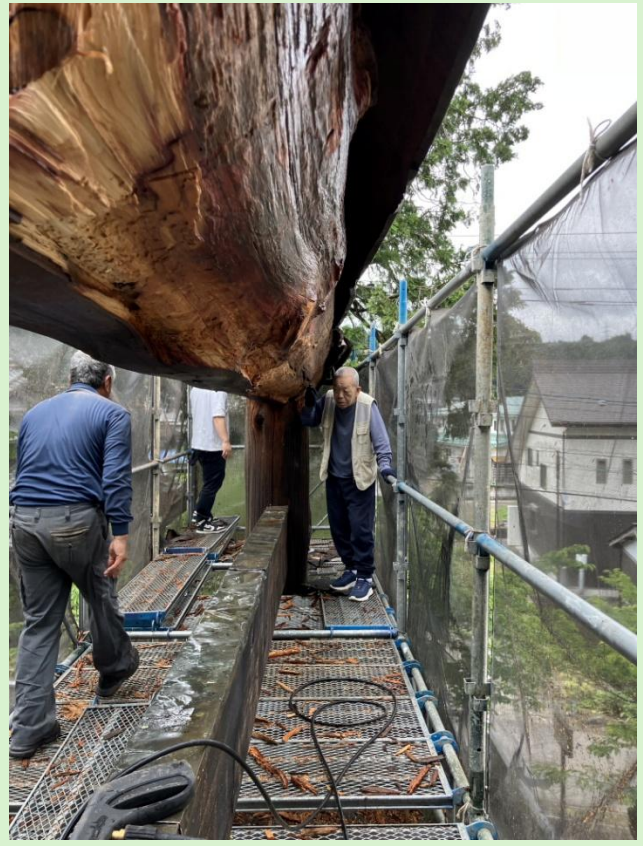


笠木と柱の繋ぎ部



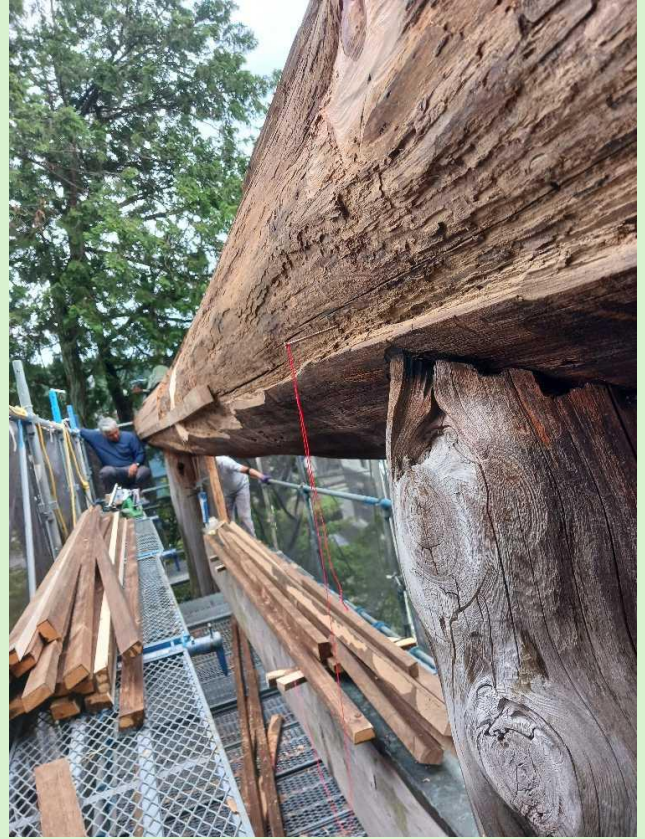
劣化部分を高圧洗浄機で除去





柱の劣化部分を削り取る

笠木施工中







笠木施工

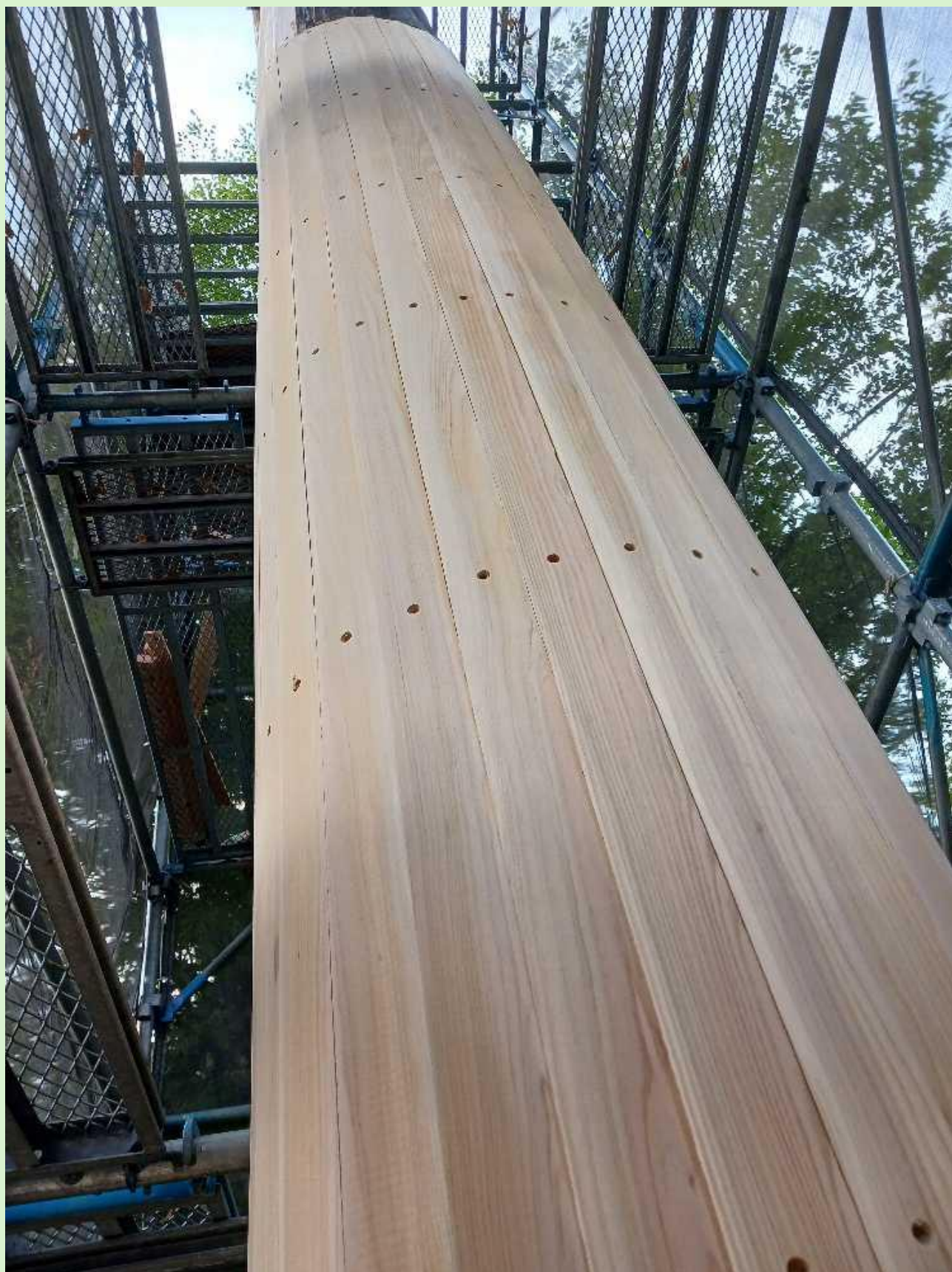
銅板笠撤去→劣化部削り取り→防腐剤、キガタメール塗布→接着剤で張り付け→ビス止め
→ビス穴充填→仕上げ→防腐剤、キガタメール塗布→仕上げ塗装→銅板笠設置

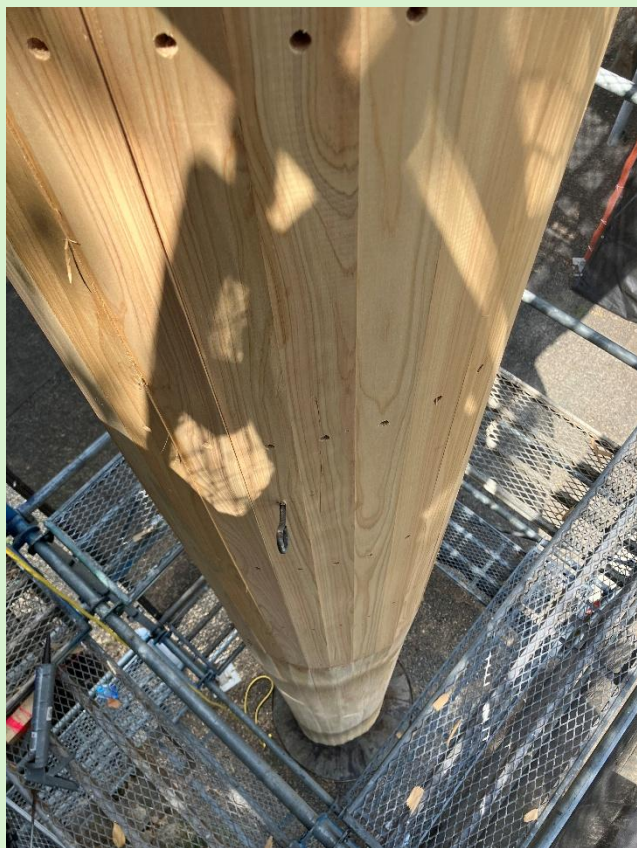
柱部分施工

劣化部削り取り→防腐剤、キガタメール塗布→接着剤で張り付け→ビス止め
→ビス穴充填→仕上げ→防腐剤、キガタメール塗布→仕上げ塗装





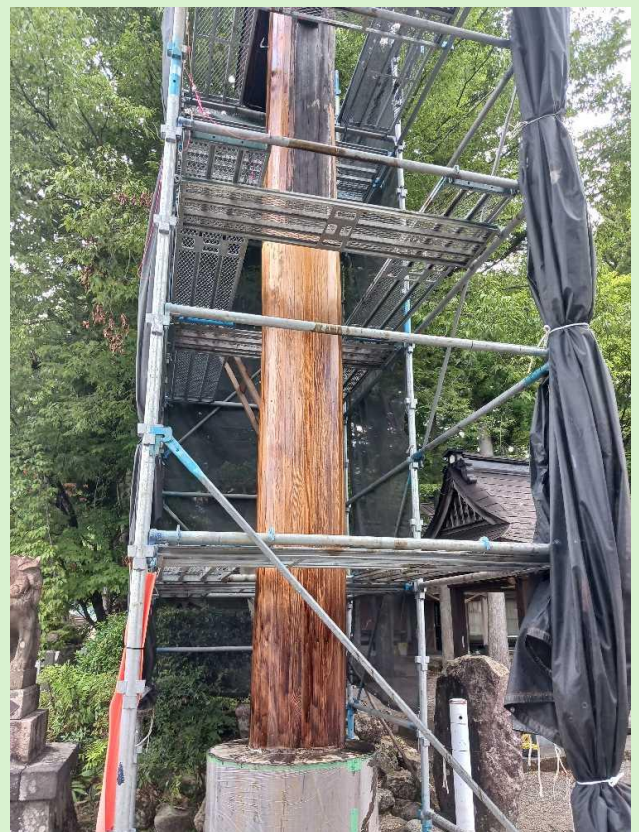




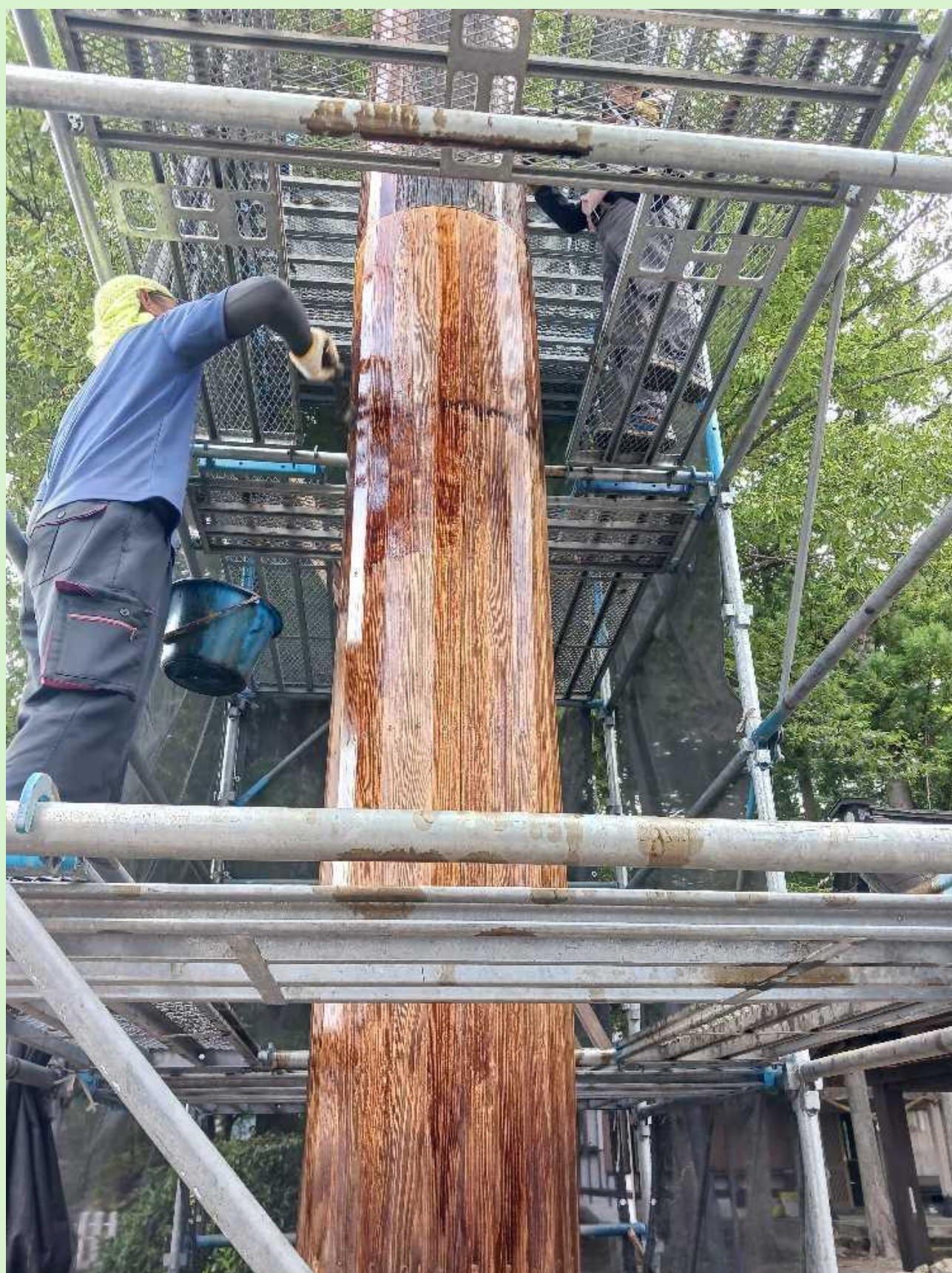
銅板笠再設置



8 / 1 6 境内縁日踊り前にここまで出来た



8 / 2 2 一次塗装











9 / 6 竣工神事

大工棟梁；川崎 弘 手伝い；足立好教、野々村 薫、大矢栄一、寺田吉幸、
足場組工；鳶の蓑島



完 成